奈良障害者技能競技大会

喫茶サービス 競技概要

模擬的に設置された喫茶店での実際の接客業務を通じて、下記の通り競技を行う。

１．指示事項

来店されたお客様に対して、単独または他の従業員 （スタッフや競技者）と連携・協力しながら、お客様の立場に立って 別添の「競技の流れ」と「セッティング見本」を参考に、正確 かつスムーズにサービスを提供する技術を競う。

２．競技の内容と観点

（１）喫茶店での業務にふさわしい身だしなみができること。
（２）業務に必要なあいさつや報告・連絡・相談等基本的労働習慣が身についていること。
（３）お客様が来店されてから帰られた後の後片づけまでの一連の接客業務が、正確かつスムーズにできること。
（４）お客様の立場に立って業務を行うことができること。
（５）規定競技は一人で業務を行うこと。グループ競技の場合は、他の従業員（スタッフや競技者）と連携・協力して、業務を行うことができること。
なおメニューは、グループ競技では、ホットコーヒー、アイスコーヒー、紅茶（レモン・ミルク）、アイスティー（レモン・ミルク）、ジュースからお客様が自由に選択し注文します。

３．競技方法等

（１）競技方法
①競技前半の規定競技は選手１人が１人のお客様に接客業務を行う。
②競技後半のグループ競技は、競技者３人程度を１グループとする。
事前に定められた順番で、グループごとに来店されたお客様に対して接客業務を行う。
②グループ競技は、１グループにつき１回実施する。
③お客様は主催者が手配したお客様、または、一般の会場来場者とする。
※参加選手数によっては、競技の方法や時間を変更することがある。

（２）競技時間
規定競技は１人１回３分程度で、グループ競技は、１グループにつき １ 回９分間程度の接客業務を行い、競技全体では２時間程度となる予定。

※参加人数のよっては、各競技の試技時間の設定が変更される場合があります。

（３）競技者の競技見学

規定競技では、自分の競技が開始するまでは選手控室で待機する。グループ競技では、競技者は競技者用に設けられた場所で、他グループの競技の様子を見学できる。

競技者は競技見学時においても、競技にあたり主催者が配置しているスタッフ 以外の者と接することはできない。

（４）その他

・競技者は店のきまりやルールにもとづいて、お客様に対して接客業務を行う。

お客様から質問されたり対応に困ったりしたときは、必要に応じて主催者が配置しているチーフに報告、連絡、相談をすることができる。また、チーフから指示があった場合は、速やかに対応する。

・競技では飲食に関する代金は受領しない。

４．会場に準備してあるもの

（１）喫茶店での業務に必要な備品、消耗品等

（２）メニューに関連する食材等

５．競技にあたり主催者が配置している要員（予定）

（１）店長等フロア担当者（チーフ）

（２）ドリンク等厨房担当者担当者

（３）食器洗浄担当者

（４）お客様案内・整理担当者

（５）競技者案内・誘導担当者

６．競技者が準備する事項

喫茶店での業務及び競技にふさわしい服装

例：エプロン、事業所で着用する喫茶ユニフォーム等

特別に喫茶店やレストラン専用のユニフォーム等を準備する必要はない。

１．使用する伝票（イメージ）

伝　　票

月　　日　　No.

品名	数	単価	金額
ホットコーヒー		300	
アイスコーヒー		350	
紅茶 （レモン・ミルク）		300	
アイスティー （レモン・ミルク）		350	
ジュース		300	
Aセット （コーヒーor紅茶）		400	
Aアイスセット （コーヒーor紅茶）		450	

テーブル№		小　計	
名様		消費税	
係		税込合計	

ありがとうございます

喫茶アビリン

（注）セットメニューは、今大会では採用しません。

２．使用するメニュー表（イメージ）

Cafe abilympic

ホットコーヒー	300
アイスコーヒー	350
紅茶（レモン・ミルク）	300
アイスティー（レモン・ミルク）	350
ジュース	300

Aセット クッキー＋ コーヒーor紅茶（レモンorミルク）	400
Aアイスセット クッキー＋ アイスコーヒーorアイスティー（レモンorミルク）	450

（注）セットメニューは、今大会では採用しません。